

総務常任委員会報告書

議 長	事務局長	次 長	書 記
			

会 議 日 時	令和4年11月15日(水) 午前9時30分 ～ 午前11時50分			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他()			
出 席 者 数	委員 6名のうち出席者 6名			
出 席 委 員	委 員 長	緒方 正綱	委 員	岩井 優之介
	副委員長	村井 眞菜	委 員	橋本 章央
	委 員	中屋 康	委 員	味元 和義
事 務 局				
説 明 者	町 長	中尾 博憲	副 町 長	森 武士
傍 聴 者		な し		
付 議 事 件	1. 職員の時間外労働について			
	2. その他			
審 査 ・ 調 査	1. 職員の時間外労働について			
	昨年8月に実施した時間外労働の職員アンケートで意見が多かった項目について			
	町としてどういった対応策ができるのか。現在対応できているもの、これから実施			
	をしていくものに区別して、町長、副町長から回答をもらった。			
	町長・副町長からの回答			
	●職員の増員、人員確保、外部委託についての考えと取り組み。			
	・介護福祉士、保育士、管理栄養士を採用予定。一般職は5～7名を予定している。			
	介護福祉士については今後も随時募集していく。			
	●書類の簡素化、業務の効率化、AIの活用について。			
	・四万十町の情報化推進計画を策定予定である。この計画に基づいて、現在試験的			
	にシステムを導入して、一般職、会計年度任用職員、約750人の年末調整の事務			
	をシステムを活用して行っている。			
	・窓口業務での押印事務の省略化については、4月からスタートしている。			
	・電子入札については、先ずは県内、町外を含めて指名願いについて来年度から高			
	知県と34市町村が共同で電子化を行うことになった。先ずは、指名願の電子化を			
	来年度行い、令和6年度から電子入札をする取り組みをしていく。			
	●業務の分担、協力体制について			
	・所属長が職員の業務をしっかりと把握するために、年度当初に掲げたものを人事評			

	価、面談によって把握できるよう努めている。		
	●庁内の打ち合わせや会議のオンライン化。		
	・移動時間の無駄をなくすということで、管理職、30人近いパソコンを導入し、		
	ズーム会議、会議のオンライン化を限りなく行っている。なるべく、オンライン		
	の会に対応。		
	●次から次へと新しい課題に取り組み過ぎる。		
	・この2年間、コロナの関係で色んな事業が出てきているという点を理解頂きたい。		
	・四万十川対策室については、一定、町長から県へ政策提言を行って、県が主導的		
	に取り組むといったことも出てきている。今後、そうした室の見直しもしていく		
	必要もあるかと考える。		
	●水曜日のノー残業デー		
	・総務課職員が退庁を呼びかけるアナウンスをしている。明らかに数字的に表れて		
	きている。例えば、総務課、高齢者支援課、学校教育課などは顕著である。殆ど		
	の課が呼びかけに呼応して多くの職員が帰っている。かなり定着したと感じる。		
	●町主催の夜間会議はできるだけ控える。		
	・会議は参加者に理解を求め、できるだけ昼間にできるよう指導していく。		
	●採用試験の見直し。		
	・余りにも事務能力に乏しい職員については、この4月から6ヶ月の条件付き採用		
	期間を設けて募集を行っている。今年度から採用試験については、6ヶ月間の勤		
	務状況をみてその上で、不適格となれば、本人に辞退を促すことが可能になった。		
	●時間外は人に付いてまわる。		
	・人事評価の中で、所属長が今やるべきことかどうか見極めた上で、時間外勤務の		
	指示を出している。更に、今後のそうした意識を持たれないように適格な判断を		
	して残業の許可をだしていく。		
	●課毎の適正人数の配置。		
	・人が偏っていることについては、人事異動の中で、業務の精査を行って適正配置		
	に努めていく。		
	等々の回答が町長-副町長の方から出された。		
	2. その他 特になし		
	(午前11時50分終了)		
報 告 日	令和4年12月7日(水)	委員長署名	緒 方 正 綱 